



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社テクノ・セブン 上場取引所 東
 コード番号 6852 URL <https://www.techno7.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 征志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 亀井 康之 (TEL) 03-3419-4411
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,349	△13.4	△15	—	56	△69.3	37	△68.7
2020年3月期第2四半期	1,557	12.3	180	41.7	183	43.8	118	74.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 128百万円 (3.8%) 2020年3月期第2四半期 123百万円 (52.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	25.05	—
2020年3月期第2四半期	80.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,325	3,052	70.6
2020年3月期	4,275	2,968	69.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,052百万円 2020年3月期 2,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△11.2	125	△68.3	125	△68.4	70	△72.8	47.27
	～3,200	～1.5	～200	～△49.2	～200	～△49.5	～120	～△53.4	～81.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）株式会社テクノ・セブンシステムズ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	1,480,840株	2020年3月期	1,480,840株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	106株	2020年3月期	106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	1,480,734株	2020年3月期2Q	1,480,745株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

2020年11月13日（金）に当社ホームページ(<https://www.techno7.co.jp>)に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、消費者マインドが悪化し、個人消費が大きく減少するなど、極めて厳しい状況にありました。今後は、社会経済活動のレベルが段階的に引き上げられ、持ち直しに向かうことが期待されてはいるものの、新型コロナウイルス感染症が国内経済を更に下振れさせるリスクも懸念されており、なお厳しい状況が続くと見込まれています。

一方、世界経済でも、新型コロナウイルス感染症のパンデミック対応による欧米、中国などの主要国による都市封鎖は、サプライチェーンを分断させ、これまでにない世界経済の混乱と失速を招き、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、システム事業・事務機器事業をメインに不動産事業を加え、3事業を柱に事業の効率化、利益体質への改善を進めながら事業の拡大に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。また、2020年4月1日に当社の完全子会社である株式会社テクノ・セブンシステムズを吸収合併したことに伴い、従業員数が300人を超えたため退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更いたしました。これにより、退職給付に係る負債が81百万円増加し、売上原価が67百万円、販売費及び一般管理費が14百万円増加いたしました。

以上のような結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、システム事業、事務機器事業、不動産事業のいずれも前年同期に比べて減少し、連結売上高は1,349百万円（前年同期比13.4%減）と大幅な減収となりました。利益面につきましても、システム事業、事務機器事業、不動産事業のいずれの利益額も大幅に減少したため、連結営業損失は15百万円（前年同期は180百万円の連結営業利益）、連結経常利益は56百万円（前年同期比69.3%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は37百万円（前年同期比68.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

① システム事業

システム事業は、システム・ソリューションやソフトウェアの設計・開発、産業機器や民生機器への組込みシステム開発、IT基盤設計・構築サービスの他に、業務系アプリケーションのシステム開発を行っております。当第2四半期連結累計期間は、引き続き公共関連の受注が堅調に推移しましたが、従来のクラウドを中心としたIT基盤設計・構築サービスおよび業務系アプリケーションのシステム開発は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、在宅勤務の拡大、営業活動の停滞および取引先の計画延伸等が発生し、受注の拡大には至らず、システム事業の連結売上高は988百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

また、注力顧客や成長分野へのリソースの「選択と集中」を継続し、大幅な経費削減に取り組んでまいりましたが、退職給付債務の計算方法の変更に伴う人件費増加等も影響し営業損失となりました。しかし、雇用調整助成金等の収入によりセグメント利益（経常利益）は、36百万円（前年同期比71.8%減）となりました。

② 事務機器事業

事務機器事業は、子会社のニッポー株式会社が「NIPPPO」ブランドで、オフィスや飲食店など小規模事業者向けの事務機器を製造、販売しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、顧客の営業自粛のほか、新店舗開業・開店が見送りとなり、全体の売上は低迷しましたが、第2四半期より新型コロナウイルス感染対策商品や3Dプリンタの売上は伸び、黒字に転換しています。

これにより、事務機器事業の連結売上高は、302百万円（前年同期比17.2%減）となりました。また、セグメント利益（経常利益）も新型コロナウイルス感染拡大の影響から、9百万円（前年同期比66.5%減）と大幅に減少しました。

③ 不動産事業

不動産事業は、所有賃貸不動産の稼働率維持に努めてまいりましたが、一部不動産の契約満了等により不動産事業の連結売上高は58百万円（前年同期比15.0%減）となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、14百万円（前年同期比44.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

① 資産

総資産は、前連結会計年度末に比べ1.2%増加し、4,325百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3.3%増加し、2,011百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金や預け金が減少した一方、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.6%減少し、2,314百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加した一方、土地が売却により減少したこと等によるものであります。

② 負債

負債は、前連結会計年度末に比べ2.6%減少し、1,272百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12.7%減少し、454百万円となりました。これは主に、買掛金や未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4.0%増加し、818百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加する一方、退職給付債務の計算方法が簡便法より原則法に変更となったため退職給付に係る負債が増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ2.8%増加し、3,052百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月20日に開示した2020年3月期決算短信内の2021年3月期の連結業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,325,513	1,504,445
受取手形及び売掛金	409,057	342,035
電子記録債権	54,164	37,941
商品及び製品	83,824	93,356
原材料及び貯蔵品	19,935	18,975
預け金	45,333	1,348
その他	9,970	13,053
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	1,947,792	2,011,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,248,530	1,236,658
減価償却累計額	△650,261	△651,934
建物及び構築物(純額)	598,269	584,724
機械装置及び運搬具	10,654	10,654
減価償却累計額	△10,654	△10,654
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	125,239	125,239
減価償却累計額	△120,927	△121,639
工具、器具及び備品(純額)	4,312	3,600
土地	1,396,494	1,287,415
有形固定資産合計	1,999,075	1,875,740
無形固定資産	8,208	6,824
投資その他の資産		
投資有価証券	214,767	345,803
繰延税金資産	81,487	62,251
その他	24,180	23,659
投資その他の資産合計	320,435	431,714
固定資産合計	2,327,720	2,314,279
資産合計	4,275,512	4,325,429

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,209	62,359
1年内返済予定の長期借入金	119,200	119,200
未払法人税等	88,945	50,692
賞与引当金	79,029	85,423
その他	123,866	136,699
流動負債合計	520,251	454,375
固定負債		
長期借入金	506,280	446,680
役員退職慰労引当金	9,355	9,770
退職給付に係る負債	244,830	335,601
その他	26,200	26,205
固定負債合計	786,666	818,257
負債合計	1,306,918	1,272,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	831,625	831,625
利益剰余金	2,041,771	2,034,448
自己株式	△173	△173
株主資本合計	2,973,223	2,965,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,629	86,895
その他の包括利益累計額合計	△4,629	86,895
純資産合計	2,968,594	3,052,796
負債純資産合計	4,275,512	4,325,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,557,784	1,349,037
売上原価	1,128,966	1,086,156
売上総利益	428,817	262,880
販売費及び一般管理費	247,866	278,082
営業利益又は営業損失(△)	180,951	△15,202
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,853	4,540
未払配当金除斥益	244	302
助成金収入	—	66,627
その他	625	3,044
営業外収益合計	5,722	74,515
営業外費用		
支払利息	1,477	1,585
手形売却損	584	513
支払手数料	840	720
その他	84	137
営業外費用合計	2,986	2,956
経常利益	183,687	56,357
特別利益		
固定資産売却益	—	921
投資有価証券売却益	2,899	—
特別利益合計	2,899	921
特別損失		
固定資産除却損	1,338	—
投資有価証券売却損	—	319
特別損失合計	1,338	319
税金等調整前四半期純利益	185,247	56,959
法人税、住民税及び事業税	64,451	50,736
法人税等調整額	2,089	△30,876
法人税等合計	66,540	19,860
四半期純利益	118,707	37,098
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,707	37,098

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	118,707	37,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,161	91,525
その他の包括利益合計	5,161	91,525
四半期包括利益	123,869	128,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,869	128,624

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	185,247	56,959
減価償却費	15,702	16,241
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,366	415
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,270	6,393
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12,899	90,770
貸倒引当金の増減額(△は減少)	98	△1
受取利息及び受取配当金	△4,853	△4,540
助成金収入	—	△66,627
支払利息	1,477	1,585
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,899	319
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△921
固定資産除却損	1,338	—
売上債権の増減額(△は増加)	38,125	83,245
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,964	△8,571
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,756	△46,849
その他	△41,639	56,452
小計	174,810	184,868
利息及び配当金の受取額	4,853	4,540
利息の支払額	△1,544	△127
助成金の受取額	—	66,627
法人税等の支払額	△49,702	△88,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,416	166,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	51,089	6,000
有形固定資産の取得による支出	△12,675	△600
有形固定資産の売却による収入	—	110,000
敷金及び保証金の差入による支出	△8,191	—
敷金及び保証金の回収による収入	70	361
投資活動によるキャッシュ・フロー	30,290	115,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△90,850	△59,600
配当金の支払額	△41,843	△44,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△132,693	△103,746
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,013	178,932
現金及び現金同等物の期首残高	848,146	1,325,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	874,160	1,504,445

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

前連結会計年度末において当社の連結子会社であった株式会社テクノ・セブンシステムズは、2020年4月1日付で、当社を存続会社とした吸収合併を行ったことに伴い、消滅いたしました。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付債務の計算方法の変更)

当社は、2020年4月1日に当社の完全子会社である株式会社テクノ・セブンシステムズを吸収合併したことに伴い、従業員数が300人を超えたため退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更いたしました。これにより、退職給付に係る負債が81,937千円増加し、売上原価が67,879千円、販売費及び一般管理費が14,057千円増加しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。